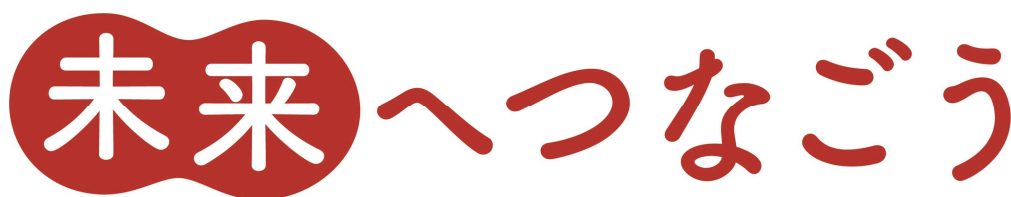


持続可能な社会の実現を目指して

## SDGs 重点課題推進スローガン「未来へつなごう」策定

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫)と会員生協(関東信越の7生協)は、コープデリグループ SDGs 重点課題の達成に向けて、新たに「未来へつなごう」のスローガンを掲げます。このスローガンのもと、組合員・消費者、生産者・取引先、行政・他団体、役職員の連携を深め、SDGs の取り組みに関する様々な事業・活動を展開してまいります。



コープデリグループ SDGs 重点課題推進スローガン「未来へつなごう」

コープデリグループは、これまで「産直 コープの里」や「お米育ち豚プロジェクト」「佐渡トキ応援お米プロジェクト」「美ら島<sup>ちゅしま</sup>応援もずくプロジェクト」など、持続可能な生産と消費に向けて、日本の農業・畜産業・水産業を応援する様々な取り組みを進めてきました。これらの取り組みを踏まえ、2021年8月に「コープデリグループのSDGs重点課題～2030年までの長期目標と中期方針～」を策定いたしました。目標12「つくる責任・つかう責任」と目標11「住み続けられるまちづくりを」に加え、事業・活動の基盤となる目標8「働きがいも経済成長も」と目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標16「平和と公正をすべての人に」の5つを重点課題に設定し、事業・活動を通じて目標実現に取り組んでいます。

「未来へつなごう」は、SDGs重点課題の達成に向けて、関連する様々な取り組みを網羅する上位概念として位置付けるものです。現在、食料自給力向上、生産者応援の観点から、昨今の食生活の多様化やコロナ禍の影響などによりお米や牛乳の消費量が低下していることを踏まえ、「食べて 未来へつなごう 日本の米づくり」応援キャンペーン、「飲んで 未来へつなごう 日本の酪農」応援キャンペーンを実施しています。またこれまでの各取り組みも、「未来へつなごう」のスローガンのもと、継続して推進いたします。コープの強みである事業と組合員の参加・活動をより進め、取り組みをより豊かに展開していきます。

今後とも、世界情勢や社会環境なども踏まえ、必要な見直しを行い、コープデリグループの社会的な使命・役割を果たしてまいります。

### ■コープデリグループのサステナビリティサイト

URL: <https://sustainability.coopdeli.coop/>

コープデリグループのSDGs重点課題については下記をご参照ください。

URL: <https://sustainability.coopdeli.coop/sdgs-subject.html>

■取り組み展開イメージ

【コープデリグループ SDGs 重点課題推進スローガン「未来へつなごう」】

# 未来へつなごう

【各取り組みロゴマーク】



【店舗掲示ポスター】



## コープデリ生活協同組合連合会 概要

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
- 【理 事 長】 土屋 敏夫
- 【会 員 生 協】
- |               |                    |            |
|---------------|--------------------|------------|
| 生活協同組合コープみらい  | 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5 | 理事長 新井 ちとせ |
| いばらきコープ生活協同組合 | 茨城県小美玉市西郷地 1703    | 理事長 鶴長 義二  |
| とちぎコープ生活協同組合  | 栃木県宇都宮市川田町 858     | 理事長 中田 和良  |
| 生活協同組合コープぐんま  | 群馬県桐生市相生町 1-111    | 理事長 中村 隆夫  |
| 生活協同組合コープながの  | 長野県長野市篠ノ井御幣川 668   | 理事長 太田 栄一  |
| 生活協同組合コープにいがた | 新潟県新潟市西区山田 2309-7  | 理事長 長谷川 聡  |
| 生活協同組合コープクルコ  | 新潟県新潟市西区流通 1-5-3   | 理事長 山口 栄   |
- 【総 事 業 高】 6,286 億円(7 会員生協事業高計) ※2020 年度
- 【組 合 員 数】 520 万人(会員生協組合員計) ※2022 年 1 月 20 日現在
- 【ホ ー ム ペ ー ジ】 <https://www.coopnet.jp/>